

【下書き・控え用調査票】
利用者の就職後の支援に関するアンケート

この調査は、就労移行支援事業、就労継続支援A型・B型事業所において、一般就労後の定着支援の実態を把握することを目的に行うものです。就労定着支援事業の指定の有無にかかわらず、ご回答ください。

就労移行支援事業所 → すべての事業所にご回答をお願いします。

就労継続支援A型・B型事業所 → 「就労定着支援事業」の指定を受けている、いないにかかわらず、
2020年4月～2022年8月末現在までの間に、一般就労した利用者がいらっしゃる事業所にご回答をお願いします。

なお、本紙はアンケートの全体構成、質問内容をご覧いただくために作成しており、ご回答につきましては、大変お手数ですが、以下のURLより、調査回答フォームに入力・送付する形でお願いいたします。

本紙は回答の下書き、控えとしてご活用いただければ幸いです。（下書きの必要がなければ、直接下記よりご入力いただいても結構です。）

アンケート回答はこちらから ↓

<https://www.net-research.jp/1147361/>

お忙しいところ、恐縮ですが、**令和4年10月14日(金)18:00** までにご回答ください。

お問合せ:株式会社 FVP 担当: 稲山・佐藤・高橋

TEL:03-5577-6913 メールアドレス:research@fvp.co.jp

はじめに

この調査では、定着支援について、次のように表記しています。

「就労定着支援事業」…就労定着支援事業の指定を受け行っている事業、またその事業の一環で行っている定着支援サービス

「定着支援」…上記の「就労定着支援事業」以外も含めて、一般就労している方のために行っている定着支援全般

【事業所の概況について】

Q1. あなたの所属する事業所の事業形態をお答えください。(○はひとつだけ)

事業形態(就労移行支援事業の指定有無)

1. 就労移行支援事業の指定を受けている
2. 就労移行支援事業の指定を受けていない

Q2. 就労移行支援事業の指定を受けている事業所にお聞きします。

貴事業所は、多機能型として以下の事業の指定を受けていますか。

(就労定着支援事業は除いてご回答ください)(○はいくつでも)

1. 就労継続支援A型 2. 就労継続支援B型
3. 就労系以外の障害福祉サービス(自立訓練、生活介護等)
4. あてはまるものはない(就労移行支援事業のみ実施)

Q3. 就労移行支援事業の指定を受けていない事業所にお聞きします。

貴事業所が指定を受けている事業はどれですか。

(多機能型の場合はいくつでも)(就労定着支援事業は除いてご回答ください)

1. 就労継続支援A型 2. 就労継続支援B型
3. 就労系以外の障害福祉サービス(自立訓練、生活介護等)

すべての事業所にお聞きします。

Q4. 利用されている方の主たる障害種別で多い順に番号を記入してください。

(該当しない場合は記入しないでください)

身体障害() 知的障害() 精神障害() 発達障害()

高次脳機能障害() 難病() その他() 手帳なし()

*重複障害の場合はいずれかの障害に寄せてください。判断がつかない場合は、「その他」でカウントしてください。

Q5. 就労支援を実施する上で、力を入れていることはどんなことですか。(○はいくつでも)

1. 利用者の確保、集客 2. 支援者の採用 3. 支援者のスキルアップ 4. 利用者の就職支援実績 5. 就労支援プログラムの充実 6. 実習先の開拓 7. 利用者の就職時期の平準化
8. 利用者の通所率の向上 9. 基本報酬区分のレベルアップ
10. 利用者の多様化(難病、高次脳機能障害、高齢障害者など)への対応 11. 在宅支援の体制強化 12. その他(具体的に:)
13. 特になし

Q6. 就労支援を実施する上で、2020年度、2021年度に得られた成果はどんなことですか。(○はいくつでも)

1. 利用者の確保、集客 2. 支援者の採用 3. 支援者のスキルアップ 4. 利用者の就職支援実績
5. 就労支援プログラムの充実 6. 実習先の開拓 7. 利用者の就職時期の平準化
8. 利用者の通所率の向上 9. 基本報酬区分のレベルアップ

10. 利用者の多様化(難病、高次脳機能障害、高齢障害者など)への対応 11. 在宅支援の体制強化 12. その他(具体的に:)
13. 特にない

Q7. 貴事業所で就労支援を実施する上で、課題と感じていることはありますか。(○はいくつでも)

1. 利用者の確保、集客 2. 支援者の採用 3. 支援者のスキルアップ 4. 利用者の就職支援実績
5. 就労支援プログラムの充実 6. 実習先の開拓 7. 利用者の就職時期の平準化
8. 利用者の通所率の向上 9. 基本報酬区分のレベルアップ
10. 利用者の多様化(難病、高次脳機能障害、高齢障害者など)への対応 11. 在宅支援の体制強化 12. その他(具体的に:)
13. 特にない

Q8. Q7の課題を解決するために、どのような取り組みをしていますか？(主なもの3つまで)

- 課題() に対して、取り組んでいること FA()
- 課題() に対して、取り組んでいること FA()
- 課題() に対して、取り組んでいること FA()

Q9. Q8で挙げた課題を解決するために、どんな制度や施策があると良いと思いますか。

FA

「指定を受けていない」と回答した事業所は、Q15へ

「就労移行支援事業」の指定を受けている事業所にうかがいます。(○はひとつだけ)

Q10. 現在、就労移行支援事業を、実施していますか。

1. 実施している 2. 実施しているが登録利用者は0人である
3. 実施していない(休止している)

Q11. 就労移行支援事業を行っている事業所の方は、以下のそれぞれの人数をお答えください。

1. 就労移行支援事業の定員数 () 人 (2022年3月31日時点)
2. 就労移行支援事業の登録者数 () 人 (2022年3月31日時点)
3. 2021年度の1日あたりの平均利用者数 () 人 (年間総利用者数÷年間開所日数)

Q12. 就労移行支援事業の利用者は増加傾向にありますか、減少傾向にありますか。(○はひとつだけ)

1. 増加傾向にある 2. 変わらない 3. 減少傾向にある

「増加傾向にある」と回答した事業所のみ、お答えください。

Q13. その理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 相談支援事業所からの紹介が増えているから
2. 障害者就業・生活支援センターからの紹介が増えているから
3. その他の関係機関からの紹介が増えているから

4. ウェブサイト等からの直接の申し込みが増えたから 5. 独自に集客の活動をしているから
6. その他(具体的に:)

「減少傾向にある」と回答した事業所のみ、お答えください。

Q14. その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 新規利用者より就職する人のほうが多いから 2. 早期に就職する人が増えているから
3. 就職以外の理由で、退所者が増えているから
4. 地域にある他の就労移行支援事業所を利用する人が増えているから
5. 就労移行支援以外の就労支援サービスを利用する人が増えているから
6. 就労移行支援事業を利用せずに企業に就職する障害者が増えているから
7. その他(具体的に:)

現在、就労移行支援事業の指定を受けていない事業所にうかがいます。

(就労移行支援事業の指定を受けていない、あるいは受けているが休止している事業所)

Q15. 貴事業所では、就労移行支援事業の指定を受けていた時期がありますか。

1. ある 2. ない

「ある」と回答した事業所のみ、お答えください。

Q16. 就労移行支援事業を休止、または廃止した理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 利用者が確保できないため 2. 対象となる利用者が就職したため
3. 職員の配置が難しいため 4. 専門性のある職員を確保できないため
5. 就労支援の実績を作ることが難しいため 6. 採算がとれないため
7. その他(具体的に:)

すべての事業所にうかがいます。

Q17、18. 貴事業所では、2020年度、2021年度に、企業等に就労した人は何人いますか。

それぞれの障害種別ごとに教えてください。

(就労継続支援 A 型への事業移行は除く)

	2020(令和2)年度	2021(令和3)年度
身体障害	人	人
知的障害	人	人
精神障害	人	人
発達障害	人	人
高次脳機能障害	人	人
難病	人	人
その他	人	人

*重複障害の場合はいずれかの障害に寄せてください。判断がつかない場合は、「その他」でカウントしてください。

【定着支援の状況について】

Q19. 貴事業所では、就労定着支援事業の指定を受けていますか。(○はひとつだけ)

1. 指定を受けている 2. 指定を受けていない

「指定を受けていない」と回答した事業所は、Q39 へ

以下の質問は、Q19で「指定を受けている」と回答した事業所のみ、お答えください。

Q20. 就労定着支援事業の指定を受けた時期を教えてください。(○はひとつだけ)

1. 2018(平成 30)年度 2. 2019(令和元)年度 3. 2020(令和 2)年度
4. 2021(令和 3)年度 5. 2022(令和4)年度

Q21. 就労定着支援事業の契約者数の推移を教えてください。(各年度末時点)

事業を開始前の場合は「0 人」とせず、「空欄」にしてください。

	2019 年度(令和元年)	2020 年度(令和2年)	2021 年度(令和3年)
契約者数	人	人	人

Q22. 2022 年 8 月末現在、就労定着支援事業の契約中の方で、定着支援を行っている方はいますか。

1. 就職後 6 か月を超え 1 年半以内の方
2. 就職後 1 年半を超え 2 年半以内の方
3. 就職後 2 年半を超え 3 年半以内の方
4. 該当する方はいない

2022 年 8 月末現在、就労定着支援事業の契約はしていないが、定着支援を行っている方はいますか。

1. 就職後 6 か月以内の方
2. 就職後 6 か月を超え 1 年半以内の方
3. 就職後 1 年半を超え 2 年半以内の方
4. 就職後 2 年半を超え 3 年半以内の方
5. 就職後3年半を超える方
6. 該当する方はいない

Q23. 就労定着支援事業に限定せず、一般的な定着支援を含め、おうかがいします。

2022 年 8 月末現在、定着支援を行っている方は何人いますか。就労定着支援事業の契約有無にかかわらず、以下それぞれについて人数をお知らせください。

	人数
1. 就職後 6 か月以内で、定着支援を行っている方	人
2. 就職後6か月～3 年半の期間に、契約に基づき定着支援を行っている方	人

3. 就職後6か月～3年半の期間に、契約せずに定着支援を行っている方	人
4. 以前は契約していたが、3年半以内に契約を終了し、その後も引き続き定着支援を行っている方	人
5. 就職後3年半を超えて定着支援を行っている方	人

Q24-26. 就労定着支援事業に限定せず、一般的な定着支援を含め、おうかがいします。

就職後の期間ごとに、定着支援として行っているサービスの内容について、該当する数字に○をつけてください。

	平均的な支援の頻度 (○はひとつだけ)	支援の方法 (上位3つに○)	支援の内容 (上位3つに○)
就職直後～ 2か月以内	1. 毎日(週4回以上) 2. 週2～3回程度 3. 週1回程度 4. 2～3週間に1回程度 5. 1か月に1回程度 6. 2～3か月に1回程度	1. 就職先での業務状況確認 2. 就職先での就職者との面談 3. 就職先での就職先担当者との面談 4. 事業所での就職者との面談 5. 事業所からの電話やメールの発信 6. 就職者からの電話やメールへの対応 7. 就職先担当者からの電話やメールへの対応 8. その他 9. 特になし	1. 本人の就業面の支援 2. 企業・職場に対する支援 3. 本人の生活面の支援(体調・生活習慣管理等) 4. 本人の生活面の支援(将来のライフサイクルの変化への備えや対応等) 5. 家族に対する支援 6. 支援終了に向けた準備 7. その他 8. 特になし
就職後 2か月を超え 6か月以内	1. 毎日(週4回以上) 2. 週2～3回程度 3. 週1回程度 4. 2～3週間に1回程度 5. 1か月に1回程度 6. 2～3か月に1回程度 7. 4～5か月に1回程度 8. 半年に1回程度	1. 就職先での業務状況確認 2. 就職先での就職者との面談 3. 就職先での就職先担当者との面談 4. 事業所での就職者との面談 5. 事業所からの電話やメールの発信 6. 就職者からの電話やメールへの対応 7. 就職先担当者からの電話やメールへの対応 8. その他 9. 特になし	1. 本人の就業面の支援 2. 企業・職場に対する支援 3. 本人の生活面の支援(体調・生活習慣管理等) 4. 本人の生活面の支援(将来のライフサイクルの変化への備えや対応等) 5. 家族に対する支援 6. 支援終了に向けた準備 7. その他 8. 特になし
就職後 6か月を超え1	1. 毎日(週4回以上) 2. 週2～3回程度	1. 就職先での業務状況確認 2. 就職先での就職者との面談	1. 本人の就業面の支援 2. 企業・職場に対する支援

年半まで	3. 週 1 回程度 4. 2～3 週間に 1 回程度 5. 1 か月に 1 回程度 6. 2～3 か月に 1 回程度 7. 4～5 か月に 1 回程度 8. 半年に 1 回程度 9. 年に 1 回程度 10. それ以下	3. 就職先での就職先担当者との面談 4. 事業所での就職者との面談 5. 事業所からの電話やメールの発信 6. 就職者からの電話やメールへの対応 7. 就職先担当者からの電話やメールへの対応 8. その他 9. 特にない	3. 本人の生活面の支援(体調・生活習慣管理等) 4. 本人の生活面の支援(将来のライフサイクルの変化への備えや対応等) 5. 家族に対する支援 6. 支援終了に向けた準備 7. その他 8. 特にない
就職後 1 年半を超え 2 年半まで	1. 毎日(週 4 回以上) 2. 週 2～3 回程度 3. 週 1 回程度 4. 2～3 週間に 1 回程度 5. 1 か月に 1 回程度 6. 2～3 か月に 1 回程度 7. 4～5 か月に 1 回程度 8. 半年に 1 回程度 9. 年に 1 回程度 10. それ以下	1. 就職先での業務状況確認 2. 就職先での就職者との面談 3. 就職先での就職先担当者との面談 4. 事業所での就職者との面談 5. 事業所からの電話やメールの発信 6. 就職者からの電話やメールへの対応 7. 就職先担当者からの電話やメールへの対応 8. その他 9. 特にない	1. 本人の就業面の支援 2. 企業・職場に対する支援 3. 本人の生活面の支援(体調・生活習慣管理等) 4. 本人の生活面の支援(将来のライフサイクルの変化への備えや対応等) 5. 家族に対する支援 6. 支援終了に向けた準備 7. その他 8. 特にない
就職後 2 年半を超え 3 年半まで	1. 毎日(週 4 回以上) 2. 週 2～3 回程度 3. 週 1 回程度 4. 2～3 週間に 1 回程度 5. 1 か月に 1 回程度 6. 2～3 か月に 1 回程度 7. 4～5 か月に 1 回程度 8. 半年に 1 回程度 9. 年に 1 回程度 10. それ以下	1. 就職先での業務状況確認 2. 就職先での就職者との面談 3. 就職先での就職先担当者との面談 4. 事業所での就職者との面談 5. 事業所からの電話やメールの発信 6. 就職者からの電話やメールへの対応 7. 就職先担当者からの電話やメールへの対応 8. その他 9. 特にない	1. 本人の就業面の支援 2. 企業・職場に対する支援 3. 本人の生活面の支援(体調・生活習慣管理等) 4. 本人の生活面の支援(将来のライフサイクルの変化への備えや対応等) 5. 家族に対する支援 6. 支援終了に向けた準備 7. その他 8. 特にない
就職後 3 年半以降	1. 毎日(週 4 回以上) 2. 週 2～3 回程度 3. 週 1 回程度 4. 2～3 週間に 1 回程度 5. 1 か月に 1 回程度	1. 就職先での業務状況確認 2. 就職先での就職者との面談 3. 就職先での就職先担当者との面談 4. 事業所での就職者との面談	1. 本人の就業面の支援 2. 企業・職場に対する支援 3. 本人の生活面の支援(体調・生活習慣管理等) 4. 本人の生活面の支援(将来の

	6. 2～3か月に1回程度 7. 4～5か月に1回程度 8. 半年に1回程度 9. 年に1回程度 10. それ以下	5. 事業所からの電話やメールの発信 6. 就職者からの電話やメールへの対応 7. 就職先担当者からの電話やメールへの対応 8. その他 9. 特にない	ライフサイクルの変化への備えや対応等) 5. 家族に対する支援 6. 支援終了に向けた準備 7. その他 8. 特にない
--	---	--	--

Q27. 就職後 6 か月間の定着支援で、特に重視していることは何ですか。

FA

Q28. 就職後 6 か月間の定着支援を行ううえで困っていることや課題はありますか。

FA

Q29. 就労定着支援事業での支援を担当している支援者は専任ですか、兼任ですか。(○はひとつだけ)

1. 専任である 2. 兼任である 3. 専任の人も兼任の人もいる

Q30. その理由は何ですか。

FA

Q31、32. 就労定着支援事業の主担当者の就労支援経験年数、保有資格を教えてください。

(○はひとつだけ)

(1) 経験年数

1. 1年未満 2. 1年～3年未満 3. 3年～5年未満 4. 5年～10年未満
5. 10年以上

(2) 保有資格

1. 精神保健福祉士 2. 社会福祉士 3. 作業療法士 4. 職場適応援助者
5. その他(具体的に:
6. 特にない

Q33. 就労定着支援事業開始から 1 年経過後に、契約を更新しなかった利用者はいますか。

1. いる 2. いない

Q34. 2 年目以降、更新に至らなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 安定しており支援不要なため 2. 本人が支援を希望しなかったため
3. 1割負担に難色を示したため 4. その他(具体的に:)

(○はいくつでも)

1. 就職後 6 か月以内の人が利用できない 2. 契約手続きが煩雑 3. 土日や夜間の支援が多い 4. 1 か月に 1 回では不十分な場合がある 5. 1 か月に 1 回の支援が不要な場合がある
6. 事業主が訪問に協力的でない 7. クローズで働いているため、企業への訪問が困難
8. 支援レポートの共有(企業、本人)が難しい 9. 何を支援すればよいか不明確
10. その他(具体的に:)
11. 特にない

サービス終了後の方針について、あてはまるものに○をつけ、その理由をご記入ください。

(○はいくつでも)

※その他の場合は、内容とその理由を教えてください。

項目	○↓	その理由
1. 支援を終了する		
2. 無償で支援を継続する		
3. 障害者就業・生活支援センター等、地域の関係機関に移管する		
4. その他		(その他の内容と理由)

「無償で支援を継続する」「地域の関係機関に移管する」「その他」に○をつけた事業所にうかがいます。

Q37. サービス終了後、何らかの支援を行ったケースがある場合、具体的な事例があれば教えてください。

FA

Q38. 貴事業所では、特段の支援がなくとも就労定着ができる状態を目指すために、特に取り組んでいることが

ありますか。

FA

Q19で「就労定着支援事業の指定を受けている」と回答した事業所は、Q56へ

以下の質問はQ19で、就労定着支援事業の指定を受けていないと回答の事業所にうかがいます。

Q39. 2022 年 8 月末現在、定着支援を行っている方は何人いますか。以下の表にご記入ください。

(1)就職後 6 か月以内に、定着支援を行っている方	人
(2)就職後 6 か月～3 年半の期間に、 無償で定着支援を行っている方	人
(3)就職後 3 年半を超えて、定着支援を行っている方	人

Q40. 貴事業所が就労定着支援事業の指定を受けない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 就労移行実績を満たしていないため
2. サービス管理責任者を確保できないため
3. 希望する利用者が少ないため
4. 事務手続きが煩雑なため
5. 事業運営上採算がとりにくいため
6. その他(具体的に:)

Q41. 今後、指定を受けて就労定着支援事業を行う計画はありますか。(〇はひとつだけ)

1. 指定申請を予定している
2. 指定申請の予定はない
3. わからない

上記の質問で、「指定申請の予定はない」「わからない」と答えた事業所のみ、お答えください。

Q42. どのような条件が整えば、就労定着指定事業の指定を受けようと思いますか。

FA

Q43. 貴事業所で定着支援を主に担当しているのはどなたですか。(〇はひとつだけ)

1. 定着支援専任の担当者
2. 就職者の就労を担当した職員
3. サービス管理責任者
4. その他 (具体的に:)

Q44、45. 定着支援の主担当者の就労支援経験年数、保有資格を教えてください。

- (1) 経験年数(〇はひとつだけ)
 1. 1 年未満
 2. 1 年～3 年未満
 3. 3 年～5 年未満
 4. 5 年～10 年未満
 5. 10 年以上
- (2) 保有資格(〇はいくつでも)
 1. 精神保健福祉士
 2. 社会福祉士
 3. 作業療法士
 4. 職場適応援助者
 5. その他(具体的に:)

6. 特にない

Q46-48. 一般就労後、6 か月間に行っている定着支援の状況について、該当する数字に○をつけてください。

	平均的な支援の頻度 (○はひとつだけ)	支援の方法 (上位3つに○)	支援の内容 (上位3つに○)
就職直後～ 2か月以内	1. 毎日(週4回以上) 2. 週2～3回程度 3. 週1回程度 4. 2～3週間に1回程度 5. 1か月に1回程度 6. 2～3か月に1回程度	1. 就職先での業務状況確認 2. 就職先での就職者との面談 3. 就職先での就職先担当者との面談 4. 事業所での就職者との面談 5. 事業所からの電話やメールの発信 6. 就職者からの電話やメールへの対応 7. 就職先担当者からの電話やメールへの対応 8. その他 9. 特にない	1. 本人の就業面の支援 2. 企業・職場に対する支援 3. 本人の生活面の支援(体調・生活習慣管理等) 4. 本人の生活面の支援(将来のライフサイクルの変化への備えや対応等) 5. 家族に対する支援 6. 支援終了に向けた準備 7. その他 8. 特にない
就職後 2か月を超え 6か月以内	1. 毎日(週4回以上) 2. 週2～3回程度 3. 週1回程度 4. 2～3週間に1回程度 5. 1か月に1回程度 6. 2～3か月に1回程度 7. 4～5か月に1回程度 8. 半年に1回程度	1. 就職先での業務状況確認 2. 就職先での就職者との面談 3. 就職先での就職先担当者との面談 4. 事業所での就職者との面談 5. 事業所からの電話やメールの発信 6. 就職者からの電話やメールへの対応 7. 就職先担当者からの電話やメールへの対応 8. その他 9. 特にない	1. 本人の就業面の支援 2. 企業・職場に対する支援 3. 本人の生活面の支援(体調・生活習慣管理等) 4. 本人の生活面の支援(将来のライフサイクルの変化への備えや対応等) 5. 家族に対する支援 6. 支援終了に向けた準備 7. その他 8. 特にない

Q49. 就職後6 か月間の定着支援で、特に重視していることは何ですか。

FA

Q50. 就職後6 か月間の定着支援を行ううえで困っていることや課題はありますか。

FA

Q51-54. 就職後、6 か月以降の定着支援について教えてください。

(1) 6 か月以降の定着支援の方針について、あてはまるものに○をつけ、その理由をご記入ください。

(○はいくつでも)

※その他の場合は、内容とその理由を教えてください。

項目	○↓	その理由
1. 支援を終了する		
2. 無償で支援を継続する		
3. 他法人で運営している就労定着支援事業に移管する		
4. 障害者就業・生活支援センター等、地域の関係機関に移管する		
5. その他		(その他の内容と理由)
6. あてはまるものはない		

(1)で「2. 無償で支援を継続する」と回答した事業所にうかがいます。

(2) 6 か月以降の定着支援の状況について、該当する数字に○をつけてください。

	平均的な支援の頻度 (○はひとつだけ)	支援の方法 (上位3つに○)	支援の内容 (上位3つに○)
就職後 6 か月を超え 1 年半まで	1. 毎日(週 4 回以上) 2. 週2～3 回程度 3. 週 1 回程度 4. 2～3 週間に 1 回程度 5. 1 か月に 1 回程度 6. 2～3 か月に 1 回程度 7. 4～5 か月に 1 回程度 8. 半年に 1 回程度 9. 年に 1 回程度 10. それ以下	1. 就職先での業務状況確認 2. 就職先での就職者との面談 3. 就職先での就職先担当者との面談 4. 事業所での就職者との面談 5. 事業所からの電話やメールの発信 6. 就職者からの電話やメールへの対応 7. 就職先担当者からの電話やメールへの対応 8. その他 9. 特にない	1. 本人の就業面の支援 2. 企業・職場に対する支援 3. 本人の生活面の支援(体調・生活習慣管理等) 4. 本人の生活面の支援(将来のライフサイクルの変化への備えや対応等) 5. 家族に対する支援 6. 支援終了に向けた準備 7. その他 8. 特にない
就職後 1 年半を超え	1. 毎日(週 4 回以上) 2. 週2～3 回程度	1. 就職先での業務状況確認 2. 就職先での就職者との面談	1. 本人の就業面の支援 2. 企業・職場に対する支援

2 年半まで	3. 週 1 回程度 4. 2～3 週間に 1 回程度 5. 1 か月に 1 回程度 6. 2～3 か月に 1 回程度 7. 4～5 か月に 1 回程度 8. 半年に 1 回程度 9. 年に 1 回程度 10. それ以下	3. 就職先での就職先担当者との面談 4. 事業所での就職者との面談 5. 事業所からの電話やメールの発信 6. 就職者からの電話やメールへの対応 7. 就職先担当者からの電話やメールへの対応 8. その他 9. 特にない	2. 本人の生活面の支援(体調・生活習慣管理等) 4. 本人の生活面の支援(将来のライフサイクルの変化への備えや対応等) 5. 家族に対する支援 6. 支援終了に向けた準備 7. その他 8. 特にない
就職後 2 年半を超え 3 年半まで	1. 毎日(週 4 回以上) 2. 週2～3 回程度 3. 週 1 回程度 4. 2～3 週間に 1 回程度 5. 1 か月に 1 回程度 6. 2～3 か月に 1 回程度 7. 4～5 か月に 1 回程度 8. 半年に 1 回程度 9. 年に 1 回程度 10. それ以下	1. 就職先での業務状況確認 2. 就職先での就職者との面談 3. 就職先での就職先担当者との面談 4. 事業所での就職者との面談 5. 事業所からの電話やメールの発信 6. 就職者からの電話やメールへの対応 7. 就職先担当者からの電話やメールへの対応 8. その他 9. 特にない	1. 本人の就業面の支援 2. 企業・職場に対する支援 3. 本人の生活面の支援(体調・生活習慣管理等) 4. 本人の生活面の支援(将来のライフサイクルの変化への備えや対応等) 5. 家族に対する支援 6. 支援終了に向けた準備 7. その他 8. 特にない
就職後 3 年半以降	1. 毎日(週 4 回以上) 2. 週2～3 回程度 3. 週 1 回程度 4. 2～3 週間に 1 回程度 5. 1 か月に 1 回程度 6. 2～3 か月に 1 回程度 7. 4～5 か月に 1 回程度 8. 半年に 1 回程度 9. 年に 1 回程度 10. それ以下	1. 就職先での業務状況確認 2. 就職先での就職者との面談 3. 就職先での就職先担当者との面談 4. 事業所での就職者との面談 5. 事業所からの電話やメールの発信 6. 就職者からの電話やメールへの対応 7. 就職先担当者からの電話やメールへの対応 8. その他 9. 特にない	1. 本人の就業面の支援 2. 企業・職場に対する支援 3. 本人の生活面の支援(体調・生活習慣管理等) 4. 本人の生活面の支援(将来のライフサイクルの変化への備えや対応等) 5. 家族に対する支援 6. 支援終了に向けた準備 7. その他 8. 特にない

Q55. 貴事業所では、特段の支援がなくとも就労定着ができる状態を目指すために、特に取り組んでいることがありますか。

FA

すべての事業所にうかがいます。

Q56. 貴事業所では、定着支援を実施するにあたり、以下に挙げる支援機関とどのくらい連携していますか。

(各々○はひとつだけ)

- (1) 障害者就業・生活支援センター
 - 1. 密に連携している 2. 時々連携している 3. あまり連携していない
 - 4. ほとんど連携していない
- (2) 訪問型職場適応援助者
 - 1. 密に連携している 2. 時々連携している 3. あまり連携していない
 - 4. ほとんど連携していない
- (3) ハローワーク
 - 1. 密に連携している 2. 時々連携している 3. あまり連携していない
 - 4. ほとんど連携していない
- (4) 障害者職業センター
 - 1. 密に連携している 2. 時々連携している 3. あまり連携していない
 - 4. ほとんど連携していない
- (5) 自治体設置の障害者就労支援センター
 - 1. 密に連携している 2. 時々連携している 3. あまり連携していない
 - 4. ほとんど連携していない
- (6) 相談支援事業所など障害福祉サービス事業所
 - 1. 密に連携している 2. 時々連携している 3. あまり連携していない
 - 4. ほとんど連携していない
- (7) 医療機関
 - 1. 密に連携している 2. 時々連携している 3. あまり連携していない
 - 4. ほとんど連携していない
- (8) 特別支援学校など教育機関
 - 1. 密に連携している 2. 時々連携している 3. あまり連携していない
 - 4. ほとんど連携していない

Q57. 定着支援を行ううえで、課題と感じていることがあれば、自由にご記入ください。

FA

Q58. 最後に、事業所名等についてお答えください。

メールアドレス:

事業所名:

住所:

TEL:

回答者氏名:

回答者役職:

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。
すべての入力が終わりましたら、送信ボタンを押してください。

お問合せ: 調査実施機関

株式会社FVP 高橋・稲山

TEL: 03-5577-6913

e-mail: research@fvp.co.jp